

※今回は3年生を前に、一段階難度が上がっている。模試を受けるには「準備」⇒「本番」⇒「見直し」のローテーションが重要。しっかり準備をして、本番に100%の持てる力を出し切り(そのためにも健康は大切)、しっかりと見直しをして振り返る。これの繰り返ししか向上の道はないのだ。「英語は絶対に裏切らない」のだから。3年生0学期、すでに戦いは始まっている。

**筆記**

**3 文法・語法問題 知識を問う問題 とにかく覚えよ!**

A 語法問題 『ヴィンテージ』の毎日の演習を大切に!なぜそうなるのか?を常に意識

- 《基本》到着したのは arrived と過去。ショーが始まったのはそれより前だから had started と過去完了になる。時制の基本問題。
- 《基本》「そんな無礼なことを言ったはずがない」という意味で助動詞+完了形を用い、cannot have said となる。助動詞 cannot は「～はずがない」の意味で重要。
- 《やや難》available 「利用できる」の使い方。「私は会合に出れますよ」という意味。
- 「大雨にもかかわらず試合を続行した」という文脈だから in spite of。一緒に同意の despite/for all/ with all も覚えておこう。他の選択肢も全て重要な成句なのでチェック。
- 《やや難》be tired of ～ 「～に飽き飽きしている」という熟語の問題。cf. be tired from ～ (～に疲れている) と区別。知っていればすぐできる問題は知識を広げておくことが重要。
- 乗り物の「運賃」は fare。ここに出てきたさまざまな「料金」を表す表現はセンター試験で頻出事項。wage, admission, cost, expense, price, charge, toll などの単語を押さえておこう。
- 《盲点》mind V-ing だと早トチリしてイ leaving に飛びつかない!その意味上の主語は所有格で V-ing の前に来る。意味は「私が～してもいいですか?」だから mind my leaving となる。



B 誤文訂正問題 《やや難》 なぜそこが誤りか?説明できるか?

- 《盲点》resemble は他動詞なので with each other の前置詞 with は不要。一見自動詞に見えて実は他動詞というのはセンター試験でも頻出事項。marry, enter, discuss, approach, mention, attend, reach, resemble (頭文字をとって「メダマアルアル」と覚えよう) が代表的動詞。
- 《盲点》「三人の中で」は in ではなくて of が正解。最上級と使われる時はどちらも「～の中で」の意味だが、in ⇒ 場所や範囲を表す (in Japan, in the world, in my class など)、of ⇒ 複数を表す語句 (of the three, of all ～s など) のように使い分ける。覚えておこう。
- 《基本》had better V は原形が来る。say でなければならない。
- 《盲点》これは日本の高校生が最もよく作文でやる間違い。Because ～と大文字で始められるのは Why?と聞かれたときだけ。... because it is spoken... と小文字で続けなければいけない。

C 語句整序問題 《やや難》 ※下記の8つのセット+熟語の知識で!

- 《やや難》まずどんな意味になるかを考えるとことから始まる。意味を確認しておこう。「彼が私に作ってくれる食事は何でも好きだ」whatever meal (どんな食事でも) ※ココを間違え易い he makes (①彼が作る) for me (④私のために) がポイント。《正解》whatever meal he makes for × whatever he makes meal for は典型的な間違い!
- 《難》go skiing (スキーに行く) in [× to] the mountains (④山に) to enjoy great views of

- nature (⑦自然の風景を楽しむために) 《正解》go skiing in the mountain to enjoy
- 3 《難》owe A to B を知っているかどうか。(A) my win in the tennis match (②④テニスの試合での私の勝利) to (B) my coach ②④ 《正解》owe my win in the tennis match to
- 4 《やや難》Not only が前に出ているので did he と倒置になることがポイント。「help +人+ V」help me finish my project (私が計画を終わるのを手助けする) 《正解》did he help me finish my project

■ 語句整序問題の着眼点8つ +これに「熟語の知識」 ※最後に意味の確認も!

①「主格代名詞・名詞+V」のセット (例: He suggest <u>s</u> など) ㊟ 動詞を決めてから主語へ
②「所有格(one's)+名詞」のセット (例: <u>his</u> bookなど)
③「冠詞(the/a/an)+名詞」のセット (例: <u>the</u> book/ <u>a</u> book/ <u>an</u> orangeなど)
④「前置詞+(代)名詞」のセット (例: <u>on</u> the deskなど) ※前置詞の後には名詞が来る
⑤「前置詞+動名詞(V-ing)」のセット (例: <u>on</u> goingなど) ※前置詞の後には名詞が来る。動詞を続けるにはing (動名詞) にして名詞化
⑥「助動詞+動詞の原形」のセット (例: <u>must</u> go, <u>can</u> playなど)
⑦「to+動詞の原形」のセット (不定詞) (例: <u>to</u> goなど) ※前置詞の to と区別
⑧「接続詞/関係詞/疑問詞 S+V」のセット (例: <u>while</u> S+V <u>where</u> S+V など)

4 長文読解問題～物語文《難》 状況が分かりにくいので非常に読みづらい!

- 問1 done it が何を指すのか内容を問う問題。こういう指示語は直前にヒントがあるのが鉄則だ。その前に There had been no discussion about them sleeping in their own room tonight. とある。「自分の部屋で寝る」ことを指している。
- 問2 《難》ポイントが3つ。(1)助動詞+完了形 could have told (言うこともできただろうに) (2)tell ...off (offは強め) (3)by heart (暗記して)「すっかり暗記して言うこともできただろう」 cf. learn ...by heart (暗記する)
- 問3 「安心させる何か」とは、直後に knowing exactly how the boys' eyes would widen in wonder when little Flinn(who Finn firmly believed was a cartoon version of himself) went through a secret passage into the magical pirate world. (小さなフリンが(フィンがフリンがお話の中では自分自身だと固く信じていた)秘密の通路を通過して魔法の海賊の世界へ入っていく場面で、子どもたちの目が驚いて大きく見開かれる様子もはっきり分かっていた) ⇒予想がつく
- 問4 《難》Can we have a secret passage?— Kate would have loved the idea, and I did too.—"We'll see," I said, my mind already thinking about one of Kate's wishes, to build a playroom for the boys. 「秘密の通路」を作ることを「考えておく」と言っている。
- 問5 my two little pirates were already drifting off.— I knew I would find it hard to sleep tonight, all alone on bed. 息子たちはすやすや眠っている。自分は眠れそうにない。いいなあ。
- 問6 部屋の様子は、several wardrobes, all ready to burst/ sweat jumper spilling out of a drawer, several pairs of running shoes... out of shoe boxes 衣類や靴がはみ出している

筆者の気持ちは、I would have to start moving Kate's clothes out of the room, I thought 処分しなければいけない その2つの状況を描いた絵イが正解。

問7 ア○ everything there, all clean...ready for Kate to wear

ウ○ It upset me to see everything there./ I didn't know the end would come so fast.

エ○ item after item... would never come out again, or at least be taken out again by Kate

イ「無駄になりそうでもったいない」とはどこにも書いてないので×。「適当でないもの」に注意。うっかり○を選ばないこと。問題文をきちんと読むことも重要。

## 6 長文読解問題～評論文 《やや難》 差がつく！

問1 その直後に After Japan's defeat in World War II, Japanese ships were not allowed to fish out of Japanese territory. 「第二次世界大戦に日本が敗北した後、日本の船は領海から外でマグロを捕ることを許されなかった」とある。この部分が解答。

問2 《やや難》 Suddenly fishermen could catch tuna from the remotest areas of the oceans, freeze them immediately, and keep their catch sushi-ready for as long as a year. 急速冷凍技術の発達で缶詰から生食用に変化した。

問3 その直後に理由 (for...) が書いてある。Americans considered bluefin too bloody to eat and had no interest in bringing home their catch. 血なまぐさくて食べられないから捨てたのだ。

問4 《やや難》 Planes from Japan, filled with electronic devices and other goods

日本からの飛行機

電子部品やその他の品物でいっぱいになった

would arrive in American airports

only to fly back empty to Japan

～したものだっ アメリカの空港に到着する

が結局、空っぽで日本へ帰るだけ

— a huge waste of fuel <同格>

(それは) 大きな燃料の無駄

問5 ア あなたも知っているように僕はほとんど調理された魚を食べなかった。[-]

イ 僕には臭いも味も食感も我慢できなかった。[-]

ウ 息を止めて丸呑みすることになるだろう。[-]

エ 生のマグロは調理されたマグロとは比べものにならなかった。[+] 仲間外れの法則

ア～ウは魚を嫌っていた頃の描写、エだけが美味しい寿司に出会った時の感想。

問6 《相当難》 □ ...however... unpalatable とあるので、□部分が正解のハズ。前文の pleasant (味の良い) が正解。 逆接 <形容詞>



## 7 英作文問題 上位と下位で差がつく問題

A 語句補充問題 知識を問う問題

1 prevent +人+ from V-ing 「人がVするのを妨げる」過去形にして prevented

「雨が降る」は動詞の rain を使う。過去形で rained

2 《難》「～の後についてくる」という動詞 follow。三単現の-s を忘れないこと。follows

have worked hard 完了形だから worked と過去分詞形。

3 「長い歴史」を持つ a long history = 「古い習慣」だ an old custom

B 和文英訳問題 《やや難》 簡単な英語でいかに処理するか? 「北高暗唱英文」を暗記!

(1) 《難》「切っても切れない関係にある」が難しい。「別々に考えることはできない」「密接に関係がある」と言い換える。cannot think of them separately/ are closely related

(2) 「年齢はあまり重視されない」⇒「それほど [あまり] 重要ではない」age is not so [very] important 「英語が話される国々」the countries where English is spoken/ English-speaking countries

(3) 「同じ国内でも」even in the same country ⇒ 「日本でも」in Japan, too 「雪を表現する

際に」⇒「雪を描写する時」when we describe snow 《難》 「選択肢が多い」⇒「さまざまな表現がある」we have various [many] expressions 「北の地域には」in northern areas 「～と聞く」I hear

C 自由英作文問題 **ポイントを押さえた英文で 差がつく問題!**

(1) 部屋の数が多い (2) 色々な用途に使える の2つが盛り込まれていることがポイント  
there are many rooms (they) can be used for many purposes/ in many ways

## リスニング

～準備して「待ち受け」ができるかどうか?

**リスニングが苦手なのではない! 単語を知らないのだ!**

### 鉄則 リスニング試験を受けるときの心構えは?

- 対策
- (1) 先に選択肢に目を通し、何を聞取ればよいのか「情報の仕込み」しておく
  - (2) 余白にメモを取って(特に数字)概要をつかむ。訓練が必要。
  - (3) 読んで分からない英文は聞き取ることは絶対に無理。知らない単語も聞き取れない。語い力・文法を鍛えるしかないのだ! コレが一番重要!
  - (4) 英語の音に慣れるには聞く量(練習)を増やすしかない。毎日聞け!  
音読英単語CD、クロスビームCD、ユメリスCD、教科書CD、NHK講座、ネット等
  - (5) 日本人には聞き取りづらい音がある。 <消える><つながる><変わる>  
これには慣れしかない! 毎日少しずつ聞くしか手はない! 「積小為大」の精神

## 1 リスニング問題 差がつく! Part 3が大幅難化!

<Part 1> 《基本》

No.1 She is my cousin. The man behind her is her father, George. いとこのお父さんは「おじさん」である。

No.2 She's moving to New York next week. ... I feel like I'm falling to pieces. 彼女が引っ越すので落ち込んでいる、がポイント。

No.3 I don't believe you.... This is not the first time you've done this to me. 信じられない。これが初めてじゃない。

<Part 2>

No.1 I have homework due on Monday and it's a difficult history report. 歴史のレポートを月曜日までに仕上げないといけない。due の使い方を辞典で確認のこと。

No.2 You probably haven't discovered your true ability yet. ... so it's hard to know our true power. For example, even a woman can lift a car when she tried to save her child under the car. [具体例] あなたは本当の力に気づいていない。不可能と思われるようなことができる。

No.3 《やや難》 Our brains make us believe that we are weaker than we really are to protect our bodies from injury. 「身体を傷つくことから守るため」がポイント。

<Part 3> 《相当難》 何の話なのかさっぱりわからなかった! テーマはPet Rocks(ペットの石)

No.1 《難》 At a local home center he found some egg-sized round gray beach stones. He bought some and packed them separately in gift boxes that looked like pet-carrying cases. 「石」を売り出した。

No.2 《難》 In each box he placed an instruction booklet that explained how to train the pet rock to sit, stay, platy dead, 「訓練するための指示を書いた小冊子」

No.3 《相当難》 Dahl tried selling Pet Rocks as Valentine gifts the next year, but he found their commercial life had ended after just one season. 1年で売れなくなったのである。